

① 以下の文章を読みながら「は・ひ・ふ・へ・ほ」に○(まる)をつけてください。

それらのなつのひび、いちめんすすきのおいしげったそうげんのなかで、おまえがたったままねっしんにえをえがいていると、わたしはいつもそのかたわらのいっぽんのしらかばのこかげにみをよこたえていたものだった。そうしてゆうがたになって、おまえがしごとをすませてわたしのそばにくると、それからしばらくわたしたちはかたにてをかけあったまま、はるかかなたの、えんだけあかねいろをおびたにゆうどうぐものむくむくしたかたまりにおおわれているちへいせんのほうをながめやっていたものだった。ようやくくれようとしかけているそのちへいせんから、はんたいになにもものかがうまれてきつつあるかのように……

そんなひのあるごご、(それはもうあきちかいひだった)わたしたちはおまえのえがきかけのえをがかにたてかけたまま、そのしらかばのこかげにねそべってくだものをかじっていた。すなのようなくもがそらをさらさらとながれていた。そのときふいに、どこからともなくかぜがたった。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

は	ひ	ふ	へ	ほ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 何について書かれた文でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線

【物語】仮名拾い(かなひろい) 課題プリント その6

答え ② は:6 ひ:3 ふ:1 へ:2 ほ:1

③ 「お前」との思い出について書かれている文。
(他、物語を説明してもらう) など

物語の出典：
風立ちぬ - 堀 辰雄 著
を平仮名に加工して作成